

# 資料 3

## 各委員選定理由

アイデア選定理由記載表		審査委員	田中 隆司	
通し番号（記載必要）	アイデア名（記載不要）	所属士会（記載不要）	チーム名（記載不要）	代表者氏名（記載不要）
1	〈建築の終活〉 建物に“いい最期”を考える	北海道建築士会 札幌支部	青年委員会	谷 拓実
アイデア 1 選定理由	建物の終わりに向き合うという今までになかった発想が面白い。			
5	公立学校をともにつくる～住民参加型学校づくりプロジェクト～	長野県建築士会上伊那支部	0	島崎敏一
アイデア 5 選定理由	統廃合が進む公立学校の再編に対し、建築士が住民や子供たちと共に新しい公共建築のあり方を提案するというプロジェクトが楽しそう。			
8	アプリを活用した情報提供、コミュニティ活性化事業	京都府建築士会青年部会	セイネンブカイはタノシイ！	大西 興季
アイデア 8 選定理由	建築士会情報コミュニティ提供のためのアプリは、SNSの活用として有効かも。			
20	建築志のつどい建築士会の会員増強に向けた交流の場の提案	岡山県建築士会	ねと和解せよ	福原 楓
アイデア 2 0 選定理由	まずは、建築士会で顔見知り・知り合いを増やすためのきっかけづくりのための交流の場を作ること大切だと思う。			
31	スキマハッキングプロジェクト -未利用空間の有効活用によるにぎわい創出-	佐賀県建築士会鳥栖地区	チーム泰元	成富泰元
アイデア 3 1 選定理由	わが町の小さく見落としがちなスキマ（建築やスペース）に注目して、まちの活性化の創出のきっかけづくりに建築士の存在をアピールできそうです。			

アイデア選定理由記載表		審査委員	吉田 浩司	
通し番号（記載必要）	アイデア名（記載不要）	所属士会（記載不要）	チーム名（記載不要）	代表者氏名（記載不要）
8	アプリを活用した情報提供、コミュニティ活性化事業	京都府建築士会青年部会	セイネンブカイはタノシイ！	大西 興季
アイデア① 選定理由	建築士会情報コミュニティを実現するアプリやSNSの必要性を感じている。このアイディアはDiscodを使う提案だが、会員メリット、会員相互のコミュニティを構築するにはとても必要なアイディアだと思う。			
10	設備BIMコンベ建築設備を含めたBIMモデルに対して各建築士会でコンペを行う	大阪府建築士会	設備BIMコンベ（大阪府青年女性委員会）	小林 優作
アイデア②選定理由	建築士の職能を拡げるという観点で、BIMのような新しい技術へのアプローチは必要。都市に対して必要な公共空間の提案を、BIMを使ってどう提案するか（情報をどう活用するか）という視点を持ち、建築士の専門性を十二分に発揮できるようなコンペは、建築士会としてやる意義があると思う。ただのアイディアやデザインではなく、新しい建築士の役割（建築の情報をマネジメントする職能）をPRできそう。			
12	ゲーム理論やAI、社会的選択理論などを建築の文脈に応用した知的サロン	大阪府建築士会	「知的サロンシリーズ」講演会（大阪府青年女性委員会）	小林優作
アイデア③選定理由	戦略的建築士、科学する設計者という観点は、今の建築士会員に欠けている部分ではないか。最新の情報リテラシーを習得し、建築士の職能をどう拡げるかという観点で学ぶサロンの意義は大きいと思う。行き着く先が、「解を探す思考」ではなく「関係者を巻き込む戦略」である点が、建築士解の団体の意義を高めることになりそう。			
14	とっとり「新」県民の建物百選	鳥取県建築士会	鳥取県1	瀬川 和也
アイデア④選定理由	「新」百選は、次世代の価値観が表出するいいきっかけになるのではないかな。選定方法も、世代別とか、属性別とか、新しい手法も試せると楽しそう。全国の会員がそれぞれの地域で選定する建物は、建築士解でしか表現できない価値観を生み出せると思う。			

22	ブロック若手会員作品賞の創設	山口県建築士会	LocoDe z a (ロコデザ)	原田 達夫
アイデア⑤選定理由	単位士会だけでなく、ブロック内の絆を強め、ブロック間の交流を深めるにはとてもいいアイデアだと思う。作品賞というより、建築士が関わった仕事（設計だけでなく施工や行政、教育なども含める）という対象にすれば、より建築士会としての意義も高まる。青年委員会が実施している地域実践活動は、地域に対するボランティアが主体となっているが、それとは別で地域に貢献している建築士の業務を評価するものがあるといい。			
35	今後建築士会の活動でやりたい事	沖縄県建築士会	チームGRIT	後藤健二
アイデア⑥選定理由	空き家と、地域の歴史の掘り起こしを繋げるアイデアが面白い。なぜ空き家になるのかというストーリーも学びつつ、そこにお化け屋敷のような新たなストーリーを交えることで、地域の魅力をより感じられそう。			

アイデア選定理由記載表		審査委員	石貫 方子	
通し番号（記載必要）	アイデア名（記載不要）	所属士会（記載不要）	チーム名（記載不要）	代表者氏名（記載不要）
4	〈全国スモールプロジェクトコンペ〉～建築士の“構想力”をつなぎ、かたちにする～	北海道建築士会札幌支部	青年委員会	谷 拓実
アイデア①選定理由	若手建築家に「自分の考えがかたちになる」喜びを味わってほしいと思う。建築士会が設計コンペを要望する小規模建築物の施主を募集してコンペを行ってもよいのではないかなと思う。都市提案プレゼンは、若手ならではの「妄想」が生まれていつか現実となることに期待したい。			
5	公立学校をともにつくる～住民参加型学校づくりプロジェクト～	長野県建築士会上伊那支部	0	島崎敏一
アイデア②選定理由	公立学校を地元住民と地元建築士がともにつくるという発想が面白いと思う。統廃合だけではなく、学校の増改築等に関わっても良いのではないかなと思う。			
7	①「会員の自宅改修(新築)プランニング企画」 ②「会員同士の職場体験」	福井県建築士会	青年部会オリエンテーションBチーム	上山 実夕
アイデア③選定理由	②「会員同士の職場体験」が面白いと思った。なかなかほかの事務所の仕事を知る機会は少ないと思ったため。 ①「会員の自宅改修プランニング」は、建築士が「つくる」ことに関わることで様々な実験的な新しい試みを行ってほしいと思う。			
11	「建築家 安藤忠雄 に学ぶ」講演会「建築家 安藤忠雄 に学ぶ」自分だけではなかなか難しい有名建築家の講演会を企画	大阪府建築士会	「建築家 安藤忠雄 に学ぶ」講演会（大阪府青年女性委員会）	小林優作
アイデア④選定理由	純粋に安藤忠雄さんの後進への言葉を聞いてみたい。いま一つ元気のない若手建築士を激励して欲しい。講演料3万円で来てくださるかは疑問だが、アーカイブとして映像を残しておきたい。			
19	Re:Home Satellite（リホームサテライト）	岡山県建築士会	チーム東備	福井 悠汰
アイデア⑤選定理由	会員のためのサテライトオフィスとショールームの創出という提案。建築士による新たな思想や実験的な提案、施工の学びの「場」をつくるということで、20と似ているが空家活用やメーカーなどからの材料提供等でもっと安く実現しそうな気がする。			
20	建築志のつどい建築士会の会員増強に向けた交流の場の提案	岡山県建築士会	ねと和解せよ	福原 楓
アイデア⑥選定理由	建築士の交流の「場」をつくる、という提案が面白いと思った。建築士同士の交流・相談、学生や子どもとの交流、施主との交流など、様々な交流やコミュニケーション、PR等が考えられると思った。			

アイデア選定理由記載表		審査委員	加藤 寛基	
通し番号（記載必要）	アイデア名（記載不要）	所属士会（記載不要）	チーム名（記載不要）	代表者氏名（記載不要）
2	〈建築の終活〉建物に“いい最期”を考える	北海道建築士会 札幌支部	青年委員会	谷 拓実
アイデア①選定理由	多くの設計者が「設計して終わり」となりがちの中で、新たな視点を得て建築の本質を再確認できたことは大きな意義である。さらに、自身の設計論を確立するための取り組みは稀少であり、こうした機会を入会メリットの一つとして位置づけられる点も非常に有益である。			
3	〈空き家の終活〉～まちと建物を“つなぎ直す”デザインを考える～	北海道建築士会 札幌支部	青年委員会	谷 拓実
アイデア②選定理由	空き家対策を掲げた活動は各地で見られるが、「なぜこれまで活用されなかったのか」「そもそも活用の余地はなかったのか」という視点を持つことで、単なる利活用にとどまらず、地域課題を掘り起こし可視化する手法にもつながると感じた。こうした視点は異なる地域に置き換えても応用可能であり、普遍的な意義を持つものである。			
8	アプリを活用した情報提供、コミュニティ活性化事業	京都府建築士会 青年部会	セイネンブカイはタノシイ！	大西 興季
アイデア③選定理由	情報過多の社会においては、一方的な情報発信にとどまらず、あふれる情報の中から個人が関心を持つものを選び取り、交流を生み出すツールが生まれることに大きな意義を感じる。また、誰かに負担を強いるのではなく、各自が自発的に関わり合うことで、長期的かつ持続的な交流につながる点も優れていると考える			
12	ゲーム理論やAI、社会的選択理論などを建築の文脈に応用した知的サロン	大阪府建築士会	「知的サロンシリーズ」講演会（大阪府青年女性委員会）	小林優作
アイデア④選定理由	一見ハードルが高いように感じられるが、設計者にとって不可欠な論理的思考力や対話力を磨く機会となる点に意義がある。また、成果をアーカイブとして共有することで他地域でも活用でき、各地域ごとの独自の視点や要素を取り入れられる柔軟性を持つ点も優れている			
14	とっとり「新」県民の建物百選	鳥取県建築士会	鳥取県1	瀬川 和也
アイデア⑤選定理由	地域における「建築選（後世に伝えたい建築）」は一定期間ごとに取りまとめられるが、その価値は世代や社会情勢によって変化するため、地域を改めて見直すことの意義を強く感じた。また、時代に応じたツールを活用することで、より適切なアーカイブが可能となるだけでなく、参加者自身のスキル向上にもつながる点も評価できる。			
20	建築志のつどい建築士会の会員増強に向けた交流の場の提案	岡山県建築士会	ねと和解せよ	福原 楓
アイデア⑥選定理由	一見するとよくあるイベントのようにも映るが、「顔見知りを増やす」ことに重点を置いている点が新鮮であり、これまでにない視点だと感じた。また、周知活動を継続する上での課題に踏み込んだ提案であり、幅広い世代の交流を生み出せることから、地域を問わず展開できる点も優れている。			
31	スキマハッキングプロジェクト -未利用空間の有効活用によるにぎわい創出-	佐賀県建築士会 鳥栖地区	チーム泰元	成富泰元
アイデア⑦選定理由	一過性のイベントではなく、自然に一般の人々の目に触れる形で取り組まれている点が、従来のワークショップ等とは一線を画しており、話題性もあって非常に良いと感じた。また、建築士の職能である企画立案やデザインに直接携われることが、参加者一人ひとりのスキル向上にもつながる点も評価できる。			
全体を通してのコメント・感想等	従来の事業ではあまり見られない新しい発想が多く、実際に取り組んでみたいと感じるものや、若い頃に出会えていれば良かったと感じる企画が多数あり、大変刺激を受けた。また、事業を過去の経験だけで判断するのではなく、共に考えながら進めていける柔軟性を自分自身も持たなければならぬと改めて感じた。			

アイデア選定理由記載表		審査委員	藤原 圭佑	
通し番号（記載必要）	アイデア名（記載不要）	所属士会（記載不要）	チーム名（記載不要）	代表者氏名（記載不要）
4	〈全国スモールプロジェクトコンペ〉～建築士の“構想力”をつなぎ、かたちにする～	北海道建築士会札幌支部	青年委員会	谷 拓実
アイデア①選定理由	コンペティションの提案が複数あった中で実現型と非実現型、2つの提案をしている部分、また、各県単位での募集、全国大会での発表・審査と建築士会全体を対象としている部分を評価しました。			
12	ゲーム理論やAI、社会的選択理論などを建築の文脈に応用した知的サロン	大阪府建築士会	「知的サロンシリーズ」講演会（大阪府青年女性委員会）	小林優作
アイデア②選定理由	建築に限らず学生時代の延長のような講義やディスカッションを通して、会員の交流や単なる「仕事仲間」以上の人間関係を築くことができる可能性を評価しました。			
14	とっとり「新」県民の建物百選	鳥取県建築士会	鳥取県1	瀬川 和也
アイデア③選定理由	地域の資源である県民の建物百選を時代に合ったものにつくり変えよう、という他の提案にはない観点、そして、鳥取県建築士会のこれまでの活動の流れ・歴史に通じている点を評価しました。			
20	建築志のつどい建築士会の会員増強に向けた交流の場の提案	岡山県建築士会	ねと和解せよ	福原 楓
アイデア⑤選定理由	コミュニケーションの取り方が時代と共に変遷・多様化している中で、まずは「顔見知りを増やす」という観点から増強に向けて交流の場を持つことは、時代の変化に即したものであると思う点を評価しました。			
22	ブロック若手会員作品賞の創設	山口県建築士会	LocoDe z a（ロコデザ）	原田 達夫
アイデア④選定理由	若手会員が目標にできるブロック単位での入門コンテスト・作品賞創設とすることで、身近に応募ができ、作品数も集まりそうだなと感じました。ブロック内での交流も機会が限られる中で、このような取り組みはブロックの活性化にも通じるであろう点を評価しました。			
25	フィールド・クラフト	徳島県建築士会	風景観察会チーム	上柿 航輝
アイデア⑥選定理由	設計や施工に限らず、多様な会員によって構成される建築士会員が「まち歩き」と「山歩き」と、まさしく建築に重点を置きすぎない「ゆるい」イベントを開催することは、会員にとっても参加しやすく、士会として一般参加者との交流も図れる点を評価しました。			

アイデア選定理由記載表		審査委員	筒井 裕子	
通し番号（記載必要）	アイデア名（記載不要）	所属士会（記載不要）	チーム名（記載不要）	代表者氏名（記載不要）
5	公立学校をともにつくる～住民参加型学校づくりプロジェクト～	長野県建築士会上伊那支部	0	島崎敏一
アイデア①選定理由	地域の学校再編について村の有志団体を支援することで、建築士のコミュニティアーキテクトとしての役割を体感できる場となり、地域貢献にも繋がる事業であり、発展性がある。			
6	建物研究 深掘りしてみないと	愛知建築士会	学生部会	寺田 馨（学生会員）
アイデア⑥選定理由	何より今すぐにでも実行できるアイデア（事業）で、実現性が高い。学生が参加しやすい建物見学からスタートし、実務者との意見交換→報告→記録→配布物→小冊子と積み重ねることで発展性に繋がる。			
10	設備BIMコンペ建築設備を含めたBIMモデルに対して各建築士会でコンペを行う	大阪府建築士会	設備BIMコンペ（大阪府青年女性委員会）	小林 優作
アイデア②選定理由	建築士が今後必要不可欠な技術BIMのコンペで、技術の習得や統合設計力を身につけるよい機会となると思う。			
12	ゲーム理論やAI、社会的選択理論などを建築の文脈に応用した知的サロン	大阪府建築士会	「知的サロンシリーズ」講演会（大阪府青年女性委員会）	小林優作
アイデア③選定理由	建築士の職能を広げるということでは、意識転換は必要である。この知的サロンは意識転換の場となる可能性を期待できる。			



22	ブロック若手会員作品賞の創設	山口県建築士会	LocoDe z a (ロコデザ)	原田 達夫
アイデア④選定理由	若手建築士の挑戦しやすい建築コンクールの創設を評価。 エリアがブロック単位で、会員同士の交流を深めたりや情報交換、自己研鑽に繋がる場として期待できる。			
31	スキマハッキングプロジェクト -未利用空間の有効活用によるにぎわい創出-	佐賀県建築士会鳥栖地区	チーム泰元	成富泰元
アイデア⑤選定理由	まちの空間（スキマ）をデザインすることで建築士の存在感を高めようとする活動。 建築士の社会的認知度向上が期待できる事業として評価する。			
全体を通してのコメント・感想等	どのアイデアも、建築士会で取り組みたい事業として真摯に向き合っていたことが伝わってくるものだった。単位士会毎に環境は様々であり、今回の応募アイデアも同様に様々であった。選定にあたり、比較できない要素もあり絞り切れなかった。			

アイデア選定理由記載表		審査委員	小林 淑子	
通し番号（記載必要）	アイデア名（記載不要）	所属士会（記載不要）	チーム名（記載不要）	代表者氏名（記載不要）
6	建物研究 深掘りしてみないと	愛知建築士会	学生部会	寺田響（学生会員）
アイデア①選定理由	建物見学は誰でもとっかかり安く、わかりやすく、建物を知ることで建物にも町にも愛着がわく。事業内容も、「会員同志で調べる」「報告、記録としたものは新入会員等への配布物として活用」「5年毎の発表会、OG・OB会の開催」とはっきりしている			
8	アプリを活用した情報提供、コミュニティ活性化事業	京都府建築士会青年部会	セイネンブカイはタノシイ！	大西 興季
アイデア②選定理由	建築士会員限定のコンテンツ、ができてうまく使えれば、会員にとってとてもメリットになる。是非、実現してほしいと思い選定した。ただ、discord というアプリを使うことに関しては良くわからない。			
12	ゲーム理論やAI、社会的選択理論などを建築の文脈に応用した知的サロン	大阪府建築士会	「知的サロンシリーズ」講演会（大阪府青年女性委員会）	小林優作
アイデア③選定理由	たくさんある具体的なテーマ例が、頼もしい。対話力の育成、とあることから、集まって対面でのサロンが事業の内容と思われるが、こういった講座シリーズは、アーカイブにすることができ、後から学べることも良いし、会員のメリットにつながる			
31	スキマハッキングプロジェクト -未利用空間の有効活用によるにぎわい創出-	佐賀県建築士会鳥栖地区	チーム泰元	成富泰元
アイデア④選定理由	「まずは小さなスケールから始めて、いずれまち全体に波及することを目指す」のが、良い。事業の流れが、きっちりと考えられていて、」記載の通り、「一般の方を巻き込むこと」ができて「建築士の職能に対する理解を深め」てもらうことが期待できる			